

2 遊水池白鳥コース 〈中木戸・七次地区〉

ゆうすい ち はく ちよう なか き ど なな つぎ

●距離：4.8km ●歩数：8,003歩

- コース
- 緑道
- 病院
- 循環バス停
- 駐車場
- 学校
- 公園
- トイレ
- 神社
- 寺院
- 石造物
- 基点・終点
- 循環ポイント

- ①西白井複合センター 300m / 500歩
- ②七次第一公園 1.1km / 1,834歩
- ③諏訪神社 100m / 167歩
- ④中木戸観音堂 100m / 167歩
- ⑤小金原のしし狩り資料 300m / 500歩
- ⑥中木戸市民の森 1.0km / 1,667歩
- ⑦七次台児童公園 500m / 834歩
- ⑧長楽寺 100m / 167歩
- ⑨大日神社・天神八幡神社 300m / 500歩
- ⑩清水口遊水池 1.0km / 1,667歩
- ⑪西白井複合センター 300m / 500歩

両地区は市の南西部に位置しています。七次地区は神崎川に沿った低地に古くからできた集落で、中木戸地区は江戸時代に入ってから開墾された新しい村です。明治時代になると村々の合併が進み、七次村・中木戸新田は、共に明治7年(1875年)に七次新田・白井木戸新田等と合併して根村となります。現在は「根地区」の一部に含まれています。



②七次第一公園

清水口小学校に隣接した台形の広い敷地で、オープンスペースが多いことから多目的な利用がされています。

③諏訪神社

享保19年(1734年)に建立され、鳥居のとなりの塚上には浅間神社が鎮座しています。



④中木戸観音堂

現在は集会所となっていますが、中に観音様が安置されています。



⑧長楽寺

天台宗の寺院で、現在の本堂は昭和50年に建て替えられたものです。本尊の阿弥陀如来立像は市指定文化財で、境内にはしるし七福神の恵比寿神が祀られています。



⑥中木戸市民の森

自然の樹木を生かしたつくりで、散歩に適しています。

⑦七次台児童公園

東側に緑道が接している閑静な公園です。

だいにち

⑨大日神社・天神八幡神社

日之大神を祭神とします。延宝5年(1677年)の鎮座とされ祭礼に合わせて、年に3回「七次の大日神楽」が奉納されます。隣にある天神八幡神社は菅原道真と生食(いけずき)という馬を祭神とします。



小金原のしし狩り資料

こがねはら

⑤小金原のしし狩り資料
風間家には江戸時代に行われたしし狩りの際に使用された「色羽織」と「村小旗」が保管されています。見学を希望する場合は事前に連絡とって許可を得てください。(県指定文化財)



⑩清水口遊水池

この遊水池は白鳥が飛来してきます。池に飛来または定着している鳥には多くの種類が確認され、1年を通して見られる鳥もいます。

